

事業	ものづくり基本計画	方針（３）新製品・技術開発等に対する支援		令和２年度		
	事業名	事業 8 新商品開発等に対する支援 (1)新商品開発に対する助成		予算額	7,500 千円	
				決算額	3,742 千円	
	事業概要	<p>新商品開発等に対して多角的な支援を実施することで、中小企業等の新商品開発意欲の向上に寄与し、地域経済の活性化を図ります。</p> <p>(1)新商品開発に対する助成 中小製造事業者を対象に、新商品等の開発に要する経費等に対して助成することにより、中小製造事業者の開発意欲の向上や製造業の振興・発展を図ります。</p>		取組状況	事業結果	
	成果目標	新商品等開発支援件数 13件				<p>①開発事業 ■申請件数：4件 ■採択件数：3件</p> <p>②改善事業 ■申請件数：5件</p> <p>採択企業に対しては、試作品の完成に向け随時フォローアップを行い、全ての事業を年度内に完了することができた。併せて産業財産権出願事業補助金の活用も推進し、企業競争力の強化につなげた。</p>
	8	総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等 R3.3.31 現在	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	新商品等開発支援件数 13件 8 (件)
		政策位置付け(分野別)	政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価		
			施策 新製品・技術開発等に対する支援			
	産業振興プラン位置付け	分野 商工・物流	政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価	<p>新型コロナウイルスの影響により低迷した業績回復に向け販路開拓と商品の開発は事業者の主要課題である。支援機関等を通じた周知の強化に努める。</p>	
	担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)		

ものづくり基本計画		方針（３）新製品・技術開発等に対する支援		令和２年度	
事業名	事業８ 新商品開発等に対する支援	予算額	6,437 千円		
	(2)デザイナー等とのコラボレーションに対する支援	決算額	4,692 千円		
事業概要	<p>新商品開発等に対して多角的な支援を実施することで、中小企業等の新商品開発意欲の向上に寄与し、地域経済の活性化を図ります。</p> <p>(2)デザイナー等とのコラボレーションに対する支援 デザイナー等とのものづくり産業の事業所等をマッチングさせ、両者の協働によって新商品等を開発する「ニューウェーブしずおか開発事業」や「しずおかMIRAI designプロジェクト」を実施し、新商品開発の促進を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<p>■（ニューウェーブしずおか創造事業） 地元の意欲的地場産業者が参加し、プロデューサー指導のもと公募デザイナーとの協働により、デザイン開発を実施。試作を行い、P R ツール等を作成しつつHP等で告知し、「つなぐデザインしずおか静岡展示会」に出展。販路開拓を実施した。 参加事業者：６者 公募デザイナー：６者 開発点数：22点 展示会開催：１回（首都圏は新型コロナウイルスの影響で出展中止）</p>	
成果目標	(ニューウェーブしずおか創造事業) 開発点数30点				
総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在	(ニューウェーブしずおか創造事業) 開発点数30点	22 (点)
	政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>■（ニューウェーブ） 開発点数は開発内容により大きく左右されるため開発は十分に実施されている。今後は開発品の一層の商品化を図っていく必要がある。</p>	
	施策 新製品・技術開発等に対する支援				
産業振興プラン位置付け	分野 商工・物流	政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	施策 新製品・技術開発等に対する支援		
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係 産業政策課 新産業係	その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（３）新製品・技術開発等に対する支援		令和２年度		
	事業名	事業８ 新商品開発等に対する支援 (3) 専門家の指導による新商品開発支援プロジェクトの実施		予算額	75,469千円の一部 千円	
				決算額	73,666千円の一部 千円	
	事業概要	<p>新商品開発等に対して多角的な支援を実施することで、中小企業等の新商品開発意欲の向上に寄与し、地域経済の活性化を図ります。</p> <p>(3) 専門家の指導による新商品開発支援プロジェクトの実施          専門家による指導のもと、中小企業が新商品開発から販売まで一貫したマーケティング手法を学ぶ「静岡おみやプロジェクト」により、新商品開発のノウハウ習得等を支援します。</p>		取組状況	事業結果 【静岡おみやプロジェクト】 ・プロジェクト期間 令和元年6月中旬～令和２年３月末 ・上限枠：6社 ・マーケティング戦略に基づいた6商品が2月時点で完成。	
	成果目標	0				
	8	総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等 R1.3.31 現在	100 (%)	
		産業振興プラン位置付け	政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、発表会をオンラインで実施。商品を手にとれないため、通常時にはバイヤーとの商談を併せて行うが、R2では実施できなかったため、創意工夫が必要である。	
			施策 新製品・技術開発等に対する支援			
	分野 商工・物流	政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
	担当課等	経済局商工部 産業振興課 中小企業支援係		その他 (特記事項)		

事業	ものづくり基本計画	方針（３）新製品・技術開発等に対する支援		令和２年度			
	事業名	事業９ 産業財産権出願に対する助成		予算額	1,300 千円		
				決算額	1,243 千円		
	事業概要	<p>産業財産権の出願に要する経費等に対して助成することにより、中小製造事業者の技術開発等の意欲向上や産業財産権保護の必要性に対する意識啓発を図ります。</p> <p>また、日本貿易振興機構（JETRO）では海外における知的財産権の保護に関する相談を受け付けているため、市内企業等から相談があった場合には窓口を案内するなど、連携した支援を実施していきます。</p>		取組状況	事業結果	<p>静岡県発明協会や市内の弁理士と連携し、市内中小製造事業者の技術保護に対するニーズに応えることができました。</p> <p>また、外国出願に対する問い合わせに対しては、日本貿易振興機構（JETRO）静岡情報センターと連携を図り、支援につなげた。</p> <p>■特許出願 : 2件 ■実用新案登録出願 : 11件</p>	
	成果目標	産業財産権出願支援件数 13件					
	9	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R2.3.31 現在	産業財産権出願支援件数 13件 (%)
			政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
		施策	新商品・技術開発等に対する支援	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	産業財産権出願に対する需要は底堅く、引き続き静岡県発明協会と連携を図り、補助制度を活用しながら企業の積極的な産業財産権出願を促進することで、市内製造業の技術保護につなげたい。	
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流				
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係	施策	新商品・技術開発等に対する支援	その他 (特記事項)			

事業 10	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和２年度				
	事業名	事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援 (1)事業高度化機械設備設置事業補助金		予算額	80,000 千円			
				決算額	76,272 千円			
	事業概要	<p>生産性向上に取り組む中小企業等に対して多角的な支援を実施します。</p> <p>(1)事業高度化機械設備設置事業補助金 中小製造事業所に対し、生産性の向上に資すると認められる機械設備設置経費に対する助成を行うことにより、地域の産業の活性化及び高度化を図ります。</p>		取 組 状 況	事業結果	<p>■補助金交付件数：35件 ■補助金交付金額：76,272千円</p> <p>企業や金融機関からの問い合わせに対しては、早期に対応し、積極的に訪問活動を実施。申請の支援を行うとともに事業課題のヒアリング等も実施、本補助金以外の支援にもつなげられるよう活動を行った。</p>		
	成果目標	機械設備設置件数 30件						
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進 捗 率 等	R 3 . 3 . 31 現在	機械設備設置件数 30件	35 (件)
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事 業 評 価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	令和２年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受ける市内中小製造事業者に対してより効果的な支援を行うため、補助率を5%から10%に引き上げた。製造業全体において加工技術の高度化が急速に進み、この傾向に対する機械設備の最新化による対応が市内事業者の課題となっている。ニーズヒアリングにより需要の掘り起こしを図っていく。	
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化					
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流					
	産業振興 プラン 位置付け	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事 業 評 価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	令和２年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受ける市内中小製造事業者に対してより効果的な支援を行うため、補助率を5%から10%に引き上げた。製造業全体において加工技術の高度化が急速に進み、この傾向に対する機械設備の最新化による対応が市内事業者の課題となっている。ニーズヒアリングにより需要の掘り起こしを図っていく。	
施策		中小企業の経営基盤・競争力の強化						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)					

事業 10	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和２年度		
	事業名	事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援 (2)現場改善支援事業		予算額	64,117千円のうちの一部	
				決算額	64,117千円のうちの一部	
	事業概要	<p>生産性向上に取り組む中小企業等に対して多角的な支援を実施します。</p> <p>(2)現場改善支援事業 市内中小企業が抱える経営課題の解決に向け、企業OBを中心とした経験豊かな専門アドバイザーを派遣し、現場作業改善（5S）や技術力向上、製品の高付加価値化を支援するほか、AIやIoTに関する相談等についても支援します。</p>		取組 状況 事業結果	<p>■現場改善支援事業所数：16事業所</p> <p>■成果発表会：中止</p>	
	成果目標	現場改善支援事業所数				
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進 捗 率 等 R3.3.31 現在	現場改善支援事業所数 16者
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化			
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流		事 業 評 価 次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	・業務改善の取組みが一時的にならないように支援を受けた企業に定着させるため、業務改善が自走できる人材組織体制を構築する支援も必要となっている。
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
施策		中小企業の経営基盤・競争力の強化				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 中小企業支援係		その他 (特記事項)			

事業 10	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和２年度					
	事業名	事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援 (3)生産性向上特別措置法に係る先端設備等導入計画の認定		予算額	- 千円				
				決算額	- 千円				
	事業概要	<p>生産性向上に取り組む中小企業等に対して多角的な支援を実施します。</p> <p>(3)生産性向上特別措置法に係る先端設備等導入計画の認定 先端設備等導入計画について市が認定を行い、取得した先端設備について、初年度から3年分の固定資産税軽減措置を受けることができるほか、認定を受けた企業が中小企業融資制度を利用するときには、信用保証料の一部を補助します。</p>		取組 状況	事業結果 <ul style="list-style-type: none"> <li>■新規認定件数：73件</li> <li>■変更認定件数：36件</li> </ul>				
	成果目標	新規認定件数 150件							
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗 率等	R3.3.31 現在	新規認定件数 150件	73 (件)	
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	今後も適切に認定事務の執行をする。	
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化						
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流		事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	今後も適切に認定事務の執行をする。		
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります						
施策		中小企業の経営基盤・競争力の強化							
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他 (特記事項)						

事業 10	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和２年度				
	事業名	事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援 (4) I T 技術の活用・促進に関する検討		予算額	6,800 千円			
				決算額	6,765 千円			
	事業概要	<p>生産性向上に取り組む中小企業等に対して多角的な支援を実施します。</p> <p>(4) I T 技術の活用・促進に関する検討 I T 技術導入に対する状況や姿勢は企業によって差があるため、静岡県 I o T 活用研究会や静岡商工会議所の I T 支援プロジェクトチーム等と連携しながら、きめ細かな支援策について検討を進めます。</p>		取組 状況	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■静岡商工会議所と連携してITなんでも相談窓口を設置。</li> <li>■窓口相談、巡回指導、セミナーを実施し、IT導入の促進並びに支援に努めた。</li> </ul>		
	成果目標	IT導入に関する支援件数 目標150件						
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗 率等	R 3 . 3 . 31 現在	IT導入に関する支援件数 目標150件	360 (件)
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	ポストコロナのビジネスモデルに対応すべく、デジタル活用に向けた相談ニーズが多く見込まれる。このことから、各種デジタル関連の支援体制の強化を図っていく。	
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化					
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流					
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります					
	施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 中小企業支援係		その他 (特記事項)					



事業	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和２年度			
	事業名	事業11 事業承継に対する支援		予算額	8,000 千円		
				決算額	7,920 千円		
	事業概要	<p>市内中小企業が円滑な事業承継を行うことは、次世代に技術やノウハウを引き継ぐとともに、雇用を確保し、市内経済活動への貢献を続けることにもつながるため、国の動きに連動するとともに、関係機関と連携のもと、事業承継の支援体制を強化します。</p> <p>(1)相談及び相談者の課題等に応じた専門家の選定等 (2)専門家の派遣 (3)啓発セミナーの開催及びチラシ等による周知</p>		取組状況	事業結果	<p>■静岡商工会議所との連携により、事業承継に係る支援体制を構築。 ■経営者等への啓発をはじめ、事業承継に関する相談及び専門家派遣の支援を行った。</p>	
	成果目標	専門家派遣を通じた支援件数 80件					
	11	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在	専門家派遣を通じた支援件数 80件
政策			世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
産業振興プラン位置付け		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	事業承継の必要性を感じていない潜在的な事業承継ニーズを顕在化すべく、啓発セミナーや巡回等の支援を市内事業者に行っていく。	
		分野	商工・物流				
	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 中小企業支援係		その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和２年度				
	事業名	事業12 中小企業融資制度による支援		予算額	169,884 千円			
				決算額	95,026 千円			
	事業概要	<p>市内中小企業が経営上必要な資金を金融機関からの融資を受ける際、利息及び保証料の一部を助成します。</p> <p>(1)各貸付金に対する利息補給 (市内16取扱金融機関に対し、上期・下期に利息補給)</p> <p>(2)小規模事業者経営改善（マル経）資金に対する利息補給 (借入者の委任を受けた商工会等に対し、年1回利息補給)</p> <p>(3)信用保証料に対する保証料補給 (静岡県信用保証協会の信用保証料の一部を補給)</p>		取組状況	事業結果	【中小企業融資制度】 ■3年間実質無利息の新型コロナウイルス関連の県制度融資の利用により市制度融資の利用は減少したが、県制度融資では対応できない創業支援資金8件、短期経営改善資金326件、産業振興資金127件の受付実績の成果があった。		
	成果目標	融資制度申込件数 1,000件						
	12	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在	融資制度申込件数 1,000件	490 (件)
			政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ関連の県制度融資は、時限的措置のため、終了後は市制度融資の利用が見込まれる。</li> <li>・事業者や金融機関からの情報収集により、時勢や状況に応じたより良い融資制度に向け、見直しを図っていく。</li> <li>・各制度融資、保証料補給事業等、市内事業者のためになる市の施策を説明会などを利用して引き続き周知していく。</li> </ul>		
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流					
	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 中小企業支援係		その他 (特記事項)					

事業 13	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和２年度		
	事業名	事業13 企業OB人材等の活用		予算額	1,700 千円	
				決算額	1,569 千円	
	事業概要	企業と企業OB人材等とのマッチングの機会を提供することで、企業OB人材等が持つ知識・経験・ノウハウ等を活用し、企業が持つ様々な経営課題の解決を図る取り組みを推進します。	取組状況	事業結果	<p>■新現役交流会の開催 経営課題を抱える中小企業と、専門的な経験・知識を有する企業OB等（＝新現役）とのマッチングを目的とした交流会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業名：第3回 静岡市新現役交流会</li> <li>・日時：令和2年10月16日（月）10:00~17:30</li> <li>・場所：静岡会場 静岡市産学交流センター ：首都圏イノベーションセンターMICAN</li> <li>・参加企業数：20社</li> <li>・参加新現役数：96名</li> <li>・延べ面談数：111回</li> <li>・マッチング率：11社/20社≒55%</li> </ul>	
	成果目標	マッチング率 60%（参加企業のうち、人材の支援を受け入れた企業の割合）				
	総合計画の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在	マッチング率 60%（参加企業のうち、人材の支援を受け入れた企業の割合） 55（%）
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業評価	<p>新型コロナウイルスの影響により、対面での交流会が困難であるため、Zoomを活用したオンライン面談にて実施。その結果、参加した新現役は96名と過去最大となった。多くの新現役が交流会に参加することがマッチング率や満足度の増加に繋がることから、次年度もオンライン面談での実施とし、交流会当日に起こり得るトラブルへの対策と新現役参加に繋がる周知活動にも注力していきたい。</p>
	施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化				
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流		事業評価	<p>次年度に向けた改善点 ・目標の未達成理由等</p>
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
施策		中小企業の経営基盤・競争力の強化				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)			

事業 14	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和２年度				
	事業名	事業14 中小企業等の表彰事業 (1)CSR活動表彰事業		予算額	0千円			
				決算額	0千円			
	事業概要	<p>本市の誇る、魅力ある中小企業等を様々な観点から表彰し、企業価値の向上につなげます。表彰企業に対しては、リーフレットやパネル等を作成し、様々な機会 で企業情報を発信するとともに、中小企業融資制度にかかる信用保証協会保証料の補助率を通常25%から75%に上乗せします。</p> <p>(1)CSR活動表彰事業 事業活動の維持拡大と社会的健全性のある経営を実践する中小企業を表彰することで、当該企業の企業価値の向上、経営基盤や競争力の強化を図ります。</p>		取組 状況	事業結果	コロナのため未実施		
	成果目標	コロナのため未実施						
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗 率等	R3.3.31 現在	コロナのため未実施 (%)	
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	-
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化					
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流		事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	-	
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります					
施策		中小企業の経営基盤・競争力の強化						
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他 (特記事項)		-			

事業 14	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和２年度		
	事業名	事業14 中小企業等の表彰事業 (2)中小事業者技術表彰事業		予算額	987 千円	
				決算額	275 千円	
	事業概要	<p>本市の誇る、魅力ある中小企業等を様々な観点から表彰し、企業価値の向上につなげます。表彰企業に対しては、リーフレットやパネル等を作成し、様々な機会 で企業情報を発信するとともに、中小企業融資制度にかかる信用保証協会保証料の補助率を通常25%から75%に上乘せします。</p> <p>(2)中小事業者技術表彰事業 新規又は独創性の高い技術を持ち、意欲的に事業活動を展開している中小製造事業所を表彰することにより、技術開発意欲の向上等を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、令和２年度は経済局全体で表彰事業を取りやめることとし、中小事業者技術表彰事業も実施しなかった。 そのため、令和２年度の支出は、静岡ビジネスレポートに令和元年度を受賞企業を掲載したことによるPR広告費のみ。</p>	
	成果目標	受賞事業者が広報された件数 -件				
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗率等	R 3 . 3 . 31 現在
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業 評価	受賞事業者が広報された件数 -件 %
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化			
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流			
	産業振興 プラン 位置付け	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業 評価	<p>■企業付加価値の向上を図るため、表彰制度や受賞事業者の効果的なPR方法の検討を行い、更なる周知と応募事業者の発掘に取り組んでいく。次年度は表彰事業の実施を再開する。</p>
施策		中小企業の経営基盤・競争力の強化				
		担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係			

事業 14	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和２年度				
	事業名	事業14 中小企業等の表彰事業 (3)多様な人材の活躍応援事業所表彰事業		予算額	1,524 千円			
				決算額	64 千円			
	事業概要	<p>本市の誇る、魅力ある中小企業等を様々な観点から表彰し、企業価値の向上につなげます。表彰企業に対しては、リーフレットやパネル等を作成し、様々な機会にて企業情報を発信するとともに、中小企業融資制度にかかる信用保証協会保証料の補助率を通常25%から75%に上乘せします。</p> <p>(3)多様な人材の活躍応援事業所表彰事業 主に女性をはじめとした多様な人材の活躍促進に積極的に取組む企業を表彰することで、市内企業における仕事と生活の両立や多様な人材が活躍できる職場環境の実現を図ります。</p>		取組 状況	事業結果	新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、表彰事業を中止した。		
	成果目標	表彰企業数 0 件						
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進 捗 率 等	R3.3.31 現在	表彰企業数 0 件 (%)	
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			事 業 評 価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	コロナ禍においても多様な人材の活躍推進に取り組んだ企業の取組を広く発信できるよう、受賞企業の取組の効果的な周知方法について検討していく。また、感染拡大防止に注意した表彰式の実施方法を検討する。
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化					
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流		事 業 評 価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	コロナ禍においても多様な人材の活躍推進に取り組んだ企業の取組を広く発信できるよう、受賞企業の取組の効果的な周知方法について検討していく。また、感染拡大防止に注意した表彰式の実施方法を検討する。	
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります					
施策		中小企業の経営基盤・競争力の強化						
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係		その他 (特記事項)					

ものづくり基本計画		方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和２年度	
事業名	事業15 本市に根ざした産業のブランド化 (1)「ホビ－のまち静岡」推進事業	予算額	73,548 千円		
		決算額	49,124 千円		
事業概要	<p>本市に根ざした産業のブランド化を推進することで付加価値を高め、他地域との差別化を図るため、様々な情報発信を実施します。</p> <p>(1)「ホビ－のまち静岡」推進事業 本市の地域資源であるホビ－を活用し、「ホビ－のまち静岡」として市内外に情報発信することで、市のブランド化及び地域経済の活性化を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホビ－推進協議会静岡が実施するホビ－のまち静岡推進事業（静岡ホビ－スクエアの運営等）に対し、補助金の交付等支援を実施 補助金交付 1件</li> <li>・静岡ホビ－スクエアの維持管理業務の実施 施設修繕 3件</li> <li>・ものづくり教育推進事業としてプラモデルをテーマにした座学とプラモデル工作出前授業を実施 市内小学校13校</li> </ul>	
成果目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「ホビ－のまち静岡」の認知度30%</li> <li>②静岡ホビ－スクエア来場者数35,019人</li> <li>③プラモデルが好きになった児童の割合90%</li> </ul>				
15	総合計画の位置付け(分野別)	分野 観光・交流	進捗率等 R3.3.31 現在	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「ホビ－のまち静岡」の認知度30% 81 (%)</li> <li>②静岡ホビ－スクエア来場者数35,019人 22,704 (人)</li> <li>③プラモデルが好きになった児童の割合90% 84 (%)</li> </ul>	
	政策	静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	今後も引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染状況等を見極めた内容、時期及び対象を見極め、模型メーカーや関係機関と連携し、効果的なシティプロモーション推進に取り組んでいく。	
	施策	模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり			
	産業振興プラン位置付け	分野 観光・交流			
政策	静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係	その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和２年度	
	事業名	事業15 本市に根ざした産業のブランド化 (2)地域産業振興ブランド認証事業	予算額	3,562 千円	
			決算額	3,273 千円	
	事業概要	<p>本市に根ざした産業のブランド化を推進することで付加価値を高め、他地域との差別化を図るため、様々な情報発信を実施します。</p> <p>(2)地域産業振興ブランド認証事業 市民投票で「100年先まで大切に残していきたい逸品」として選ばれた商品を「しずおか葵プレミアムAWARD」として認証し、PRや企業支援を行うことで、本市のシテプロモーションの推進及び地域経済の活性化を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<p>■PRイベント実績</p> <p>①しずおかPR展示（4/7-26） ②いいねスタンプラリー（抽選プレゼント）（7/1-8/31） ③Cenova 1 階販売会「シズオカエールマーケット」（9/19-22） ④新静岡SALしずおかマルシェ 販売会（9/24-30） ⑤静鉄ストアキャンペーン（11/21-22） ⑥産業フェアしずおか2020（11/28-29）</p>
	成果目標	展示販売会等実施回数 6回			
15	総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等 R3.3.31 現在	展示販売会等実施回数 6回	100 (%)
	政策(分野別)	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	認証商品の認知度及び売上向上を図るため、販売場所（ECサイト・アンテナショップ等）の確保とPR及び今後の効果的な事業展開のための制度の見直しを実施する。	
	施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化			
	産業振興プラン位置付け	分野 商工・物流			
	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
	施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化			
	担当課等	経済局商工部 産業振興課 企業立地係	その他 (特記事項)		



事業	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和２年度		
	事業名	事業15 本市に根ざした産業のブランド化 (3)オクシズ「漆-japan-の里」構想事業	予算額	(協議会への負担金) 1,350 千円		
			決算額	(協議会への負担金) 1,350 千円		
	事業概要	<p>本市に根ざした産業のブランド化を推進することで付加価値を高め、他地域との差別化を図るため、様々な情報発信を実施します。</p> <p>(3)オクシズ「漆-japan-の里」構想事業</p> <p>中山間地「オクシズ」に漆の木を植林するとともに、漆を採取したり、塗ったりする職人を育成し、地域の文化財を守る仕組みを築き、「漆-japan-の里」としてのブランド化を図るとともに、伝統工芸技術の継承を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<p>(４) H30年度末官民で構成される「オクシズ『漆の里』協議会」を設立。都市部との交流促進、生産振興や6次産業化の推進を通じ、静岡の漆文化-「Shizuoka japan」のブランド化を目指します。</p> <p>【令和２年度実績】※協議会事業実績 (調査事業) 試験植樹、成分分析の実施 (付加価値向上事業) 協議会ロゴマークの作成 (普及啓発・人材育成・情報発信事業) 「オクシズ『漆』の学校」の開催、各種イベントへのブース出展、 協議会Facebookでの情報発信、協議会HPの制作 ほか</p>	
	成果目標	漆植樹面積 0.5ha				
	15	総合計画の位置付け(分野別)	分野	農林水産	進捗率等	R 3 . 3 . 31 現在
政策			多彩な地域資源をみがきあげオクシズ等の地域の活力強化を推進します			
施策		地域資源を活かした新しい産業の創出				
産業振興プラン位置付け	分野	農林水産	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	市内産漆の地産地消を目指し、植樹事業を含む協議会の各種事業を計画的に展開しながら事業のブランド化を図ることで、市民や民間企業等の理解を深めると共に事業継続のための資金開発に繋げていきます。	
		政策				多彩な地域資源をみがきあげオクシズ等の地域の活力強化を推進します
		施策				地域資源を活かした新しい産業の創出
担当課等	経済局農林水産部 中山間地振興課 企画係		その他(特記事項)	※H31～R3 農水省山村活性化振興交付金事業		

事業	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和２年度			
	事業名	事業16 地場産品の情報発信・愛用推進		予算額	290,246千円		
				決算額	283,451千円		
	事業概要	<p>JR静岡駅構内の駿府楽市と郊外に立地する駿府匠宿において、本市の伝統工芸品を中心とした地場産品の展示や各種PRによる情報発信を行います。</p> <p>なお、駿府匠宿の現状は、来場者数は減少傾向にあり、伝統工芸の情報発信拠点としての役割が弱くなっています。このような状況を改善するため、経営面からのアプローチ、あり方からのアプローチを行い、伝統工芸の振興と持続可能な施設運営を目指しているところです。</p>		取組状況	事業結果	<p>■ JR静岡駅アステイ静岡西館「駿府楽市」内の静岡市特産品展示コーナーにおいて、年間23会の展示会を開催した。（静岡市特産品展示コーナーに係る運営業務委託、内外装等修繕、什器購入、空調保守、清掃、玄関マット賃借の実施）</p> <p>・R2来場者数：166,580人</p> <p>・隣接する駿府楽市での工芸品のR2年間売上金額：24,988千円</p> <p>■ 駿府匠宿 来場者数 57,050人 駿府匠宿 利用者満足度 99.6%</p> <p>■ 施設のあり方を検討した結果、伝統工芸への直接的な訴求でなく、間接的なアプローチにより創作体験の利用へ繋げる手法により、創作体験者の増加を目指す方針へ転換。そのため、令和3年度からは施設の目標を「来場者数」から「創作体験者数」に変更し、「伝統工芸を身近に感じ、未来に繋ぐ」を目指す施設の姿とした。</p>	
	成果目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>隣接する駿府楽市での工芸品の年間売上金額24,597千円</li> <li>駿府匠宿来場者数 270,000人</li> <li>駿府匠宿利用者満足度 90%以上</li> </ul>					
	16	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在	<p>隣接する駿府楽市での工芸品の年間売上金額24,597千円 24,988千円 (%)</p> <p>①駿府匠宿来場者数 270,000人 57,050人 (%)</p> <p>②当該施設利用者満足度 90%以上 99.6%</p>
			政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>
		施策	新市場・販路開拓に対する支援				
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流	政策	施策	<p>世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります</p> <p>中小企業の経営基盤・競争力の強化</p>	<p>・駿府楽市では、コロナ禍で来客数及び売上金額が減少すると予定していたが、インテリア商品や雛祭りなどの季節イベント商品などといった、充実したおうち時間を提案する企画展示を開催したことで、当初目標の売上金額を上回ることができた。今後は、引き続き来場者が安全に鑑賞・購入できる環境を整備するために、効果的な新型コロナウイルス感染症対策を図るとともに、ウィズコロナ時代に適したPR方法を検討していく。</p> <p>・駿府匠宿では、新型コロナウイルス感染症の影響による施設の休場や緊急事態宣言を受けた外出控え等を理由に、来場者数の目標は達成できなかったが、利用者満足度に関しては、感染症の蔓延防止対策を確実に実施した上での体験を通じて、利用者の安心安全の確保及び創作体験の魅力が高い満足度に繋がった。</p> <p>引き続き、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止対策を確実にを行い、リモートによる情報発信などコロナ禍における事業展開を支援する。</p> <p>令和3年度からは、指定管理者が更新されるため、事業者と綿密に情報共有を図り、管理運営に支障をきたさないようにする必要がある。</p>
			政策				
施策			中小企業の経営基盤・競争力の強化				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 地場産業係		その他 (特記事項)				